

6480

六百三十七師團作戦記録

137D
多摩隊

三頁七節

陸軍

1234

漢書・地理志ノ一ト稱

1235

作戦記録参考資料

陸軍

詳下記の如く小笠の行動の爲 終戦前後の関東軍全般の状況に

関しては全く無知なることを諒承され度 又下記の如き人事編成

作業の変動は愈々以て戦力充揮を阻害するものにして終戦前

頃の一般動向として例の御参考たるべく此に附記す。

小笠は昭和六年第九師団の沖縄轉進時朝鮮軍参謀へ

軍需資源関係も朝鮮勤務は初めて以て大駒歩ノミテ軍需

諸工場、鉱山等視察、總督府會議等々の間六月迄は東滿

城子溝の(三)に於て編成の(120D) 参謀長へ、編成漸く終り同地周

辺東寧附近陣地編成準備中同師団より木原師團と

新編成(120D) 自らは南鮮に移駐大邱慶水周辺に大榎廓防

禦陣地及朝鮮東南海岸、固城、三千浦より蔚山浦項

に亘り對米防禦陣地編成中、關東軍司令部附に一月

新(京)に無職待命(137D) 参謀長へ、同師団は安東より大本部

以上の本部編成次が北鮮羅南へ移り同地にて師団編成中、

原典・四本ノート

第五、終戦前後に於ける日本人、朝鮮人の状況

一、在留邦人

成

終戦後の現地治安維持を殆ど帰国者の代行等により済

す。不明不交の事例と之と関し一切証明せず虚偽を云ひ

不逞驍人を使喚して迫害する等、甘言始人と確たる邦人

の援護の処置を講じず多大の不安と死害をせしむるが如し

其の状況は地方により可なり相違せるが如く例へば白羅南

附近の邦人は同地にて多大の困難と死害をせしめ残存して

陸軍

長途陸路を成興迄下り(同地にて多数チコレリヤに襲は
 れたること後、判明、又一部列車にて成興或は平壤附近
 に後退し者と列車停止のす、長時日曝露、其苦狀
 見るに堪へざるものありき
 病老、妊婦人及乳幼児は最も苦痛を感ぬ死せざる
 者多かりしと聞く、滿洲に於ては更に更に慘劇を演ぜ
 るを察りしもの多しと云ふ

原典・開本ノート

陸軍

此等在留邦人の慘禍に因しては今次敗戦の成行の如

き政府及陸軍軍としては既に早くより予測しありたる

べきに拘り邦人の根本対策に就ては枝密保持、不交

勅提防止更に多数邦人の後退上の困難等各種事情

ありたるも國家國章の敗戦を予測される時期に於け

る邦人の引揚保護は最も重大事項にして之の殆んど一

として為らるべきを予測しめらる所ト政府及軍

の國民の大なる怨念の因なる所ト深く省察するべし

とある

二、鮮人の状況

終戦前迄所在の鮮人は対日不穩の事象を以て日本

と同様爾後の成行を不安がり居りし有様ありしが終

戦と同時に(凶敵の退去后)不足鮮人の出獄、ソ連軍の便

況

態により更に大々逮捕せんとし対日本人迫害の事件

類發せしむるも全般的には尚老壯青年も当初は日本人

原稿・添付ノリ

陸軍

に同情を寄せ又此際ばかりと軍隊は私人の被服等及

食糧の消費をこの側の監視を遣み盛に行へり

尚の軍進駐後の邦人と同様に韓人も掠奪暴行の被害

を受けこの側に対する反感を漏せしもの方がふりき

第六の章に關する觀察

この章とは金戈交戦せりしが故に軍に終戦時及在り抑

留向に於ける觀察をす

この章幹部以下の果實

の種類

民族性により可なり相違ある如きとシテ軍の將兵共一般に日

本の回車隊に比し

(イ) 智能の程度あり殊に数理に關し低級

(ロ) 独断 變通性乏し 横の連絡性乏し

(ハ) 計原性乏し

此れ以下記の諸兵より軍隊としての力は回車隊の優劣であり

其の指導訓練適切である限り其の固有の膨大なる軍需資

原典・日本ノイロ

杖に依り忍ぶべきものあり

陸軍

1. 前記個人。独断應用計畫甚乏し又個上記の軍

命令規定計畫に依て動く力は却て怖るべきものあり

又命令の遵奉性任務の遂行責任觀念旺盛、体力

困苦欠乏に堪ふる力、耐寒力極めて強し

2. 実戦的訓練に徹底しありて殊に旧日本軍隊は常

に批判され乍ら非実戦的繁複訓練事項多かりしに

比し大なる逕庭あり事務的にも極めて繁し如し

<p>3. 個人の嚴格なる責任制となり、戦時において持ちこたへる</p>	<p>が如し、而して、平時時共、日本軍隊の如く、敬礼其他、敬礼</p>	<p>らぬ所に就ては、縁又上下共無関係なり</p>	<p>4. ホルセイイキ的政治教育徹底し、諸外國の事情に因しては</p>	<p>全く無知なるは、自國當局を信賴する所強く、其盲目信せ</p>	<p>る所、強みあり</p>	<p>5. 神経の遲鈍なる莫は、戦況の不利、苦境に際し、反省し、反省</p>
--------------------------------------	---	----------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	----------------	--

東京・河本ノード

戦斗力を低下せざる長所と有す

陸軍

6. 旧日本軍隊は極端なる幕僚主義をとりしに及し敵

底なる個人責任制にして平時の進級抜擢も実力主義

従て上級幹部に実行的人物多きが如し

7. 今次大戦による実戦訓練の効極めて大なるべし

8. 第一線に起つ下級将校の大部は前記の如き胆力知能

計画巧妙なる計画能、教理的能力低きも実戦の実務に

堪能、体力旺盛なる兵出身多きことは旧日本軍隊が之に

及するインテリのもの多かりしに比し軍隊の戦斗美力邊
 かに強きと認む

の各級幹部は裏面に於ては可なり個人的悪事を爲す

が如きも旧帝政ロシア時代の極端なる階級差別的な

りしに對しかくも表面上に於て彼等の所謂同志愛的な

自由平等を尊へあり（命令職務遂行時以外）

10. ロシア女の体力極めて旺盛に入りて後諸職場に於て男子

に及び殆んど悉く色なき活動力を有せることは之が軍隊の

一部要員として將又銃後に在る戦争間重要な役

割となし得たるを知り得

11. 此戦の平時に於て統制の社会機構生産機構其他支

通運輸教育等總て軍隊的団体訓練的のみに

して(服装階級章等迄及び)極端なる軍國主義的

なる事は平時に於て如何に個人の自由を拘束されたかとの

反面戦時に於て其の威力を其のまま直ちに發揮し得

し

但多数諸民族の間少くも表面上無差別とし又諸共和

國に各自國軍を構成せるものありも實情上は於て

全軍一途の組織内に強く統轄されあり故に此の多

数異民族との關係に於て戦力弱化する事甚かしく

其の体的協同を為さざるもの見ゆるべし

二) 軍の兵器資材

漢文・西字ノート

陸軍

事情不明なるも一部外観せる所ありしも兵器資材も米

製に比し技能精度方るもこゝと旧日本軍兵器に比すれば

極めて堅牢に実用的にして其の数量の膨大亦こゝを俟た

ず、近代戦の要求を考へ現在ソ連が航空機、戦車、対

空、対戦車大砲、輸送用自動車等を鋭意増強しつゝ

ある言は彼等の軍力誇示を界制覇の政策上よりと

察するに難かず、其等の採縦工作幹部要員の多数

養成と計画的に平時を以て工業とも関連せしめ及々た

るものあり)

第七 我方に因す。教訓事項

前諸項に述べし言は又同時に我方に因す。教訓として

更に特記事項もも總括的に旧日本軍隊の「」に於て

る勝味を主要するは日露戦時と同様矢張り上級司

令部の用兵運用各級幹部の独断應用戰術能力を

以て主動的に作戰を指導する所にある

原典・日本ノ一ト

又日本人日本軍隊は団結すれば極めて怖るべき力を發
揮するをば彼等も十分認り、斯る故に在りて抑留
間彼は日本軍隊内の内部斗争、破壊工作を強烈に
行はしめたり

斯かる同胞内相食み分離せしむる内部斗争の如きコソ
例として、白、羅等の停虜には余は行はしめしものを日本
軍抑留者内に行はしめたるは、確に其の間日本人自体の内
上思想的に留虜に乗せらるべし重大なる欠陥あることを認め

であるが、又此等の事情とも関連して従来日本人が諸
 外國の事情中欲し取事情、民族主義、社会主義等に因
 して如何に無智なりしやを知らず、更に日本人自体が如何に
 民族的試練に欠け、又自惚れが強く諸外國の長所短所
 を冷静公平に觀察するの余裕に欠けありしやを知らずし

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

皇・清・日本・支那

1255